

# 第 287 回 令和 2 年 12 月定例会

## 一般質問

12月8日、9日の本会議では、11名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム(2月下旬掲載予定)にて御覧いただけます。



### 加西病院の今後の方向性について



中右 憲利 議員  
(令和新風加西)

**問** 2025年に新病院が開院予定とのことだが、その概要は。

**答** 計画案では西館は残し、新館を今の駐車場に建設します。新館建設中も診療は続け、新館での診療開始後に中央館等古い建物を解体撤去する計画です。当初の病床数は、新館136床と西館21床の157床でスタートし、その後は状況を見て病床数の適正化を図ることになると考えます。

**問** 診療科について。

**答** 基本計画の答申では、内科、外科、整形外科、麻酔科、救急科、精神科については維持、それ以外の診療科は近隣病院等との連携を検討するとしており、今後神戸大学医局の動向なども勘案しながら対応する予定です。

**問** 産婦人科について。

**答** 当院は産婦人科医師が1名のため、希望があれば妊娠初期初期の診療等を受け持ち、以降は分娩が可能な病院を紹介する機能をワンストップで提供することになると考えています。

**問** 産前産後ケア事業について。

**答** 新病院では、産前産後ケア事業の専用病室を用意することは難しいと考えます。一般の病室の個室を使い入院していただき、その際にお子様を一時的に預

かる場所など、産前産後ケア事業を円滑に運営していく準備等については、多くの方の意見を聞きながら計画を進めたいと考えます。

**問** 新病院建設基本計画策定委員会が指摘した、収益性、効率性の改善について。

**答** 収益性については、医療費請求上で、DPC症例ごとに費用過多となっていないかを、院長が各診療科の医師、看護部等との面談によって指摘し、改善の検討を進めているところです。効率性については、収入に見合った職員数の適正化を図るため、要員計画に基づき退職不補充の方針で人員の適正化を進めています。医療消耗品も値下げ交渉を実施し、年間約2,000万円の効果を上げています。加えて委託業務の見直し等経費の削減を図っているところです。